

気がつかないうちに 肝がん?!?

沈黙の臓器といわれる肝臓。
症状が出てからでは遅いのです。



では、どうしたらいいの？
詳しくはこのパンフの中に

広島大学 肝炎・肝癌対策プロジェクト研究センター

厚生労働科学研究費補助金(肝炎等克服政策研究事業)
「肝炎ウイルス感染状況の把握および肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究」班 作成

検査を受けるには

県保健所(支所)や県委託医療機関で、無料で検査を受けることができます。
一般的な健康診断で受ける場合は、肝炎ウイルス検査が含まれていないことが多いので、
ご所属の健康保険組合等に確認してください。
肝炎ウイルス検査で陽性の場合、精密検査が無料になる場合があります。詳しくはお近くの
保健所等にお問い合わせください。

検査の種類	実施主体	問い合わせ先
1 職場の健康診断 (お勤め先によっては受けられない場合があります)	加入している医療保険の 保険者等	お勤め先 (健康管理部門)
2 市町の肝炎ウイルス検診 (1の検査を受ける予定のない40歳以上の方)	市町	お住まいの 市町の担当窓口
3 無料肝炎ウイルス検査 (1の検査を受ける予定のない方。ただし2の対象者は除く。)	県及び保健所設置市 (広島市・呉市・福山市)	県薬務課、 県保健所(支所)※

※ 広島市、呉市、福山市にお住まいの方は各市担当課までお問い合わせください。

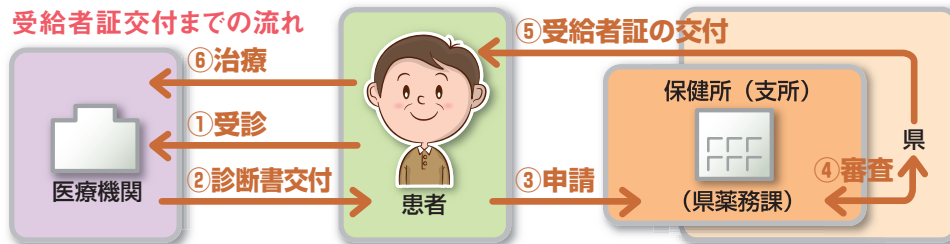
詳しくは、県のホームページをご覧ください。
広島県トップページ>分類でさがす>健康・福祉>健康・医療>感染症・難病・肝炎>肝炎ウイルス検査を受けてください

治療には医療費の助成も受けられます

広島県では、B型肝炎の方のインターフェロン(IFN)治療及び核酸アナログ製剤治療、
C型肝炎の方のインターフェロン(IFN)治療及びインターフェロンフリー治療に対し
て治療費の助成を行っています。自己負担額は月額1万円または2万円までに軽減さ
れます。

医療費助成を受けるためには、県から交付される「**受給者証**」が必要です。
肝がんまたは重度(非代償性)肝硬変の入院医療費助成制度もあります。
詳しくは、県ホームページをご覧ください。

広島県トップページ>分類でさがす>健康・福祉>健康・医療>感染症・難病・肝炎>肝炎治療費助成制度について



肝疾患相談室(医療に関する専門的な相談) 相談に係る費用は無料です。
広島大学病院：広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-1541 (専用)
福山市民病院：福山市蔵王町 5-23-1 電話：084-941-5151 (内 3146)
※各相談室の相談日は、土、日、祝日及び年末年始の日は除きます。

肝がん予防のためには

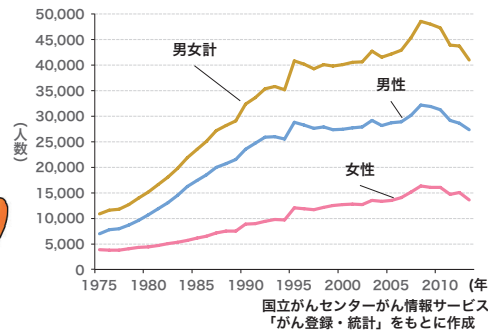
少なくとも一生に一度は 肝炎ウイルス検査を受けましょう！

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、
自覚症状がないまま病気が進行してしまいます

2000年時点で、国内の約300万人がB型及びC型肝炎ウイルスに感染しているといわれています。
しかし、日本の3分の1強の人がまだ肝炎ウイルス検査を受けていません。
ウイルス感染を放置しておく、肝硬変や肝がんを発症する恐れがあります。
ウイルスに感染しているかどうかは検査でしかわかりません。まだ検査を受けていない人は早めに肝炎ウイルス検査を受けましょう。



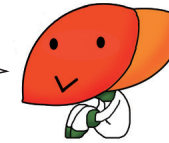
肝がんの患者数の推移



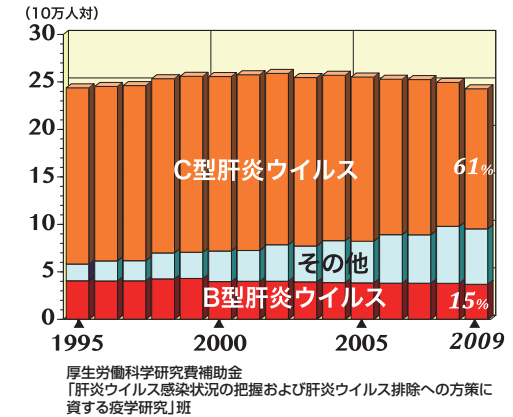
肝がんの原因のほとんどはB型・C型肝炎ウイルスの持続感染です

日本人のがんによる死亡で5番目に多いのが肝がんです。毎年約3万人が肝がんで亡くなっています。
その原因の約80%はB型・C型肝炎ウイルスの持続感染です。
しかし、肝がんは原因がはっきりしているため、予防可能ながんといわれています。

検査していない人は
少なくとも一生に一度は
受けましょう



肝がん死亡の原因別にみた割合



B型肝炎は治療により肝硬変や肝がんへの進行を抑えることができます

B型肝炎は…

- 出産時に母親から赤ちゃんに感染する「母子感染」、乳幼児期に父母などから子どもに感染する「乳幼児期の感染」がほとんどです。
- 持続感染者（キャリア）から慢性肝炎・肝硬変を発症する人は10～15%でほとんどの人はそのまま一生を過ごします。
- **症状がなくてもB型肝炎は突然肝がんを発症することがあるので、定期的に検査を受けることが大切です。**

治療

B型慢性肝炎の治療目標は、ウイルス増殖抑制による肝炎の沈静化です。これにより、肝炎関連合併症を阻止し、生命予後、QOLを改善することができます。
抗ウイルス療法の有効率は**80%以上**です。

抗ウイルス療法

核酸アナログ製剤療法（内服薬）

- ・ 肝炎ウイルスの増殖を抑制する治療法
- ・ 35歳未満でも進行した慢性肝炎・肝硬変患者が対象
- ・ **投与を中止すると肝炎が再発するため、内服を続けるようにしましょう。**

治療すれば
肝がんを予防
できますよ



C型肝炎の治療効果は飛躍的に進歩しています

C型肝炎は…

- 感染している人のほとんどは、原因がわからない人が多く、過去の輸血なども原因のひとつです。
- B型肝炎ウイルスより感染力が弱く、性交渉や体液では感染することはほとんどありません。
- **60歳以上に感染率が高い**傾向がみられます。
- ゆっくりではあるものの徐々に肝臓の線維化が進み、長い時間をかけて肝硬変・肝がんへと進行します。

治療

C型慢性肝炎に対する治療の原則は抗ウイルス療法です。C型肝炎ではウイルスを排除することにより肝細胞がんの発生及び肝疾患関連死のリスクが低下します。

経口薬によるウイルス排除率

